

令和３年度 第３回 学校運営協議会アンケート・意見書（とりまとめ）

令和４年３月

彼杵小学校

回答頂いた方の分を載せています。次年度（令和４年度）の第１回学校運営協議会実施の際の参考資料として活用させていただきます。

１ 所属する専門部活動について

（１）環境営繕部

- ① 概ね良好に計画書通り進んだと思います。父兄の方が沢山加勢に来られて助かりました。
- ② 芝ろう会はメンバーが交代、年間の活動はＰＴＡの学年別参加でほぼ①時間内で作業することができた。ただ、冬芝の播種の時期が遅かったのか作業にばらつきがあったのか、芝の生長が斑で、芝の刈り込みが不十分だった。
- ③ ビオトープの整備も水溜までは出来たが、その後の予定が思うように進まず、落ち葉防止の網を設置した程度で、浮き草、メダカの投入は未完成。
- ④ 植木の剪定も葉揃えをする程度しか出来なかった。
- ⑤ （１）玄関前、池改善。（例）プラスチックケース
（２）運動場器具の塗装
- ⑥ 今年度はＰＴＡ代表として、ほぼ芝刈り整備に参加させて頂きました。今までＰＴＡ本部役員が指定日以外で携わってきたのか不明ではありますが、地域の方と先生方のお陰で今があるのかなと感謝しております。本当に感謝しかありません。

（２）生活安全部

- ① 危険箇所の確認（現場確認）が出来ず、資料によるものでした。今コロナ禍の中で無理だとは思いますが。本来なら現場を実際に見ての方が良かったのでは…川棚署や各々の自治体との連携も積極的に行ったら（できたら）と思います。
☆児童が何故危険なのかを知る必要があるので、周知の徹底が望まれます。

（３）学習支援部

- ① ゲーム・ＳＮＳ等のメディアの問題については、学校発信で講習会、啓発が行われ良かったと思う。今後は保護者と共に、運営協議会メンバーとして、さらに進んで啓発活動が出来たらと思います。
- ② コロナ禍で一堂に集まって交流する活動はできなかった。しかし、逆に家庭や室内で過ごす時間が多くなったので、家族での過ごし方、メディアとの関わり方について、共に考える機会になったと思う。
- ③ ゲーム・スマートフォンの件について、専門部会で何度も取り上げ、実態を聞いて大変驚きました。森先生（彼杵小養護教諭）の保健指導で、ゲーム依存症の子ども

さんがいると、これ又驚きです。今の時代なんだろうが、何か手立てをお願いします。

- ④ 他の専門部と比べ、どうしても目に見えた活動が結果として表れにくく、また、学習支援という分野のため、学校を主体とした取組しかできず、話し合いをしても机上の空論のような感じがしました。学童や婦人会の方がメンバーにいらっしゃったので多方面からのアプローチ、支援も今後期待したいです。婦人会の方と一緒する機会に恵まれたので、母親部のほうから、ベルマーク収集に協力していただくようお願いしたところ、快く承諾してくださいました。地域の方々からの支援を受けた取組ができてよかったです。次年度も引き続き御協力いただく予定です。

(3) 広報部

- ① 委員の皆さんや見守り隊、見守り隊、芝刈り会等、地域の学校協力隊の皆様の取組が「コミュニティー・スクール」の充実に向けて重要な活動であることを保護者や地域の皆様にもっとお知らせしたい。…反省です。

2 他の専門部の活動について・運営協議会について

- (1) 環境営繕部は樋口部会長他校庭の芝の管理（芝刈り・播種等）、PTAの協力もあって、順調に運営されているようです。
- (2) 他の部での活動状況はあまり良く分からなかったが、「こども110番のお店・家」の復活調査は新聞でも取り上げられ成果は上がっているようです。
- (3) 「こども110番のお店・家」の設立を機に、地域の見守り強化の活動にさらに協力していきたいと思います。
- (4) 環境営繕部の芝刈りは、年間を通じての活動お疲れ様でした。PTAのご協力があり、良かったです。
- (5) 「こども110番のお店・家」についての新たな整備は、学校との連携・地域での見守り役として周知するために有意義である（取組にあたっては、大変御苦労されたことと思います）。
- (6) 芝生管理もPTA主導でやれることが理想。そして、OBとして、地域住民としてのサポートが繋がっていければと。
- (7) 今回、PTAから参加させて頂きましたが、PTAに関しては1年という期限付きなので、不完全燃焼に終わった感が強いです。特に集まりの機会も少なく（例年と比べ）、正直委員の実感はなかったです。せめて2年は継続したいですね。
- (8) 生活安全部において、「通学路の危険箇所」を把握するだけでなく、1つでも無くしていこうということで、行政側への報告に対するそれぞれの関係部署からの回答を待って、今後、速やかな対応の協議に期待したい。
- (9) コロナウイルスで活動ができなかった部分もありますが、次年度はPTAも一丸となり、今まで通りの活動を取り戻せたらと思っています。

3 学校評価アンケートについて・学校についての意見・要望

- (1) コロナ禍の中、先生方はよくやっています。一日も早く、子どもたちが活発に生活できるようになってもらいたいものです。
- (2) 基本的な生活習慣の評価が「C」とあったが、学校からの帰り道、散歩の時間帯と重なるが、積極的にこちらから声をかけて「おかえり。」を行うようにしている。ほとんどの児童が「こんにちは。」の挨拶で返してくれます。
- (3) 思考力・判断力・表現力の育成が「A」評価は教師の指導力が向上していることと分析。文科省は2022年から教科担任制を導入するが、現状では教師志望が減少の傾向の中、実現は時間を要する。国の方針を先取りして、3年生以上から算数・国語・理科の得意な先生に担任（専科）してもらう方法などは学校の独自の判断で出来るのではないかな。1・2年生はやはりベテランの女教師となるだろうか。
- (4) コロナ禍で制限がある中で、出来る工夫をとっても考えて、行事・学習をされていたと思います。
- (5) 学校行事は運動会に参加させていただきましたが、先生方の連携・チームワークがとても良かったと感じました。
- (6) コロナの感染状況に大きく左右され、子どもたちにとって安定した教育環境を作るために、学校現場でも日々苦心されたことと思います。非常時の中で、できる形で、できる方法で、子どもたちに必要な学びの機会を与えていただければと思いますし、家庭や地域が、子どもたちを笑顔で見守り、手助けできるよう私たちも努力していきたいと思います。
- (7) 先生方にはあいさつができていないのかもしれませんが、地域（登下校時）や来校者にはできていないことが多いと感じます。また、地区で当番制での立哨を行っていますが、交通ルールが守れていなかったり（横断時一時停止しない、左右確認しない、広がって歩く）、登校班長が役目を果たしておらず、ただ先頭を歩くだけ（副班長も同様）なので指導をお願いしたいと思います。
- (8) コロナ禍における感染予防に努めながらの教育、大変でしょうが、指導宜しく願いします（感謝）。
- (9) 「がんばれ。」じゃなくて「がんばった。」をくれる温かい笑顔の先生。
- (10) 「C」評価の「基本的な生活習慣」（あいさつ・返事・受け答え）での子どもたちの挨拶については、地域の皆さんからも同様の意見が多数聞かれます。当協議会で地域住民・企業を巻き込んでの活動が出来ないか…と考えているところです。
- (11) 挨拶の「C」が気になりました。

P T A本部役員ももっと挨拶の大切さを広げていく活動も重要だと感じました。広報部で「挨拶について」など掘り下げて広げていければいいのかなと考えております。P T Aも学校評価についてはしっかり向き合うべきだと思っております。

4 その他

- (1) 確かな学力を身につけた子の評価をオール「A」に出来る可能性は学校の工夫と考え方で実現出来るのではないかと理解しているが。
- (2) 朝の見守り活動中「おはよう。」と声をかけると、立ち止まって挨拶してくれる子。
- (3) 児童によっては、挨拶ができない子、数名。その中の1人(女の子)挨拶をしてくれるようになった。元気をもらっています。
- (4) P T A専門部の広報部長さんにも委員になっていただき、P T A広報紙での活動報告や様々な問題提起で保護者への周知ができたと思っています。
- (5) 環境営繕部も高齢化となっておりまして、次の世代も視野に入れていかなければいけないのかなと思っています。